

ウェブサイトはこちら!



福島第一原子力発電所で働く
みなさんへのお知らせ

2017年



10月



INDEX

■ いちえふのいま

廃炉へのみちのりが
一部見直されました

■ 1Fを守る仲間たち

● 東双不動産管理
視察運営グループのみなさん

● 東電フュエル
福島第一事業所のみなさん

■ 私の健康法【第4回】 梅木 仁司さん

■ いこいの時間

クロスワード

プレゼント

福島名産の
お菓子の詰め合わせ



とびっくす



ピカッと作戦! 早めのライトオン

秋になると16時ごろには暗くなるので車のライトをつけるよう心掛けましょう。歩行者が見やすくなるだけでなく、車の存在を周囲に知らせることができます。



ふくしまバーガーサミット2017 in 桑折

日時: 10月22日(日) 10:00~16:00

場所: 桑折町ふれあい公園

ご当地バーガーが集結! 食べ比べに行ってみませんか?



目の健康づくりにつとめましょう

スマートフォンやPCを長時間使って目が疲れていませんか? 紅葉観賞をしたり、睡眠や食事をしっかりとって、目をいたわりましょう!



いちえふのいま



会見中の増田 尚宏 CDO※

※CDO: Chief Decommissioning Officer

(廃炉・汚染水対策最高責任者)

廃炉へのみちのりが 一部見直されました

前回の見直しから2年がたち、より多くの情報が集まりました。それに伴い、福島第一原子力発電所の廃炉、汚染水処理を進めるための工程表である中長期ロードマップが見直されました。今回の改訂ポイントは、下の5点です。

- ① 燃料デブリ取り出し方針の決定
- ② プール内燃料取り出しの安全確保を最優先とした対応
- ③ 汚染水対策の維持・管理
- ④ 廃棄物対策の基本的考え方とのとりまとめ
- ⑤ 双方向のコミュニケーションの重視・強化



「1Fの印象が変わった」と 言ってもらえるのがやりがい

1Fの廃炉作業が進むにつれて、その様子を視察したいという一般の方が増えてきました。現在の1Fの姿を正しく伝えるためには、多くの方々に見ていただくことが大切です。今回は、そうした視察者をご案内している東双不動産管理の視察運営グループのみなさんにお話をうかがいました。

—— お仕事の内容を教えてください。

乙部さん：1Fを視察したいという方のために、富岡町の国道6号沿いにある旧エネルギー館に集合していただき、そこからバスに乗って1F構内を案内するのが主な仕事です。

武内さん：受け付け、バス乗降のご案内、添乗、お客様の安全確認、必要な装備類の準備などが私たちの仕事です。

「子どもたちに伝えたい」という
言葉が印象に残っている



—— 印象に残ったことはありますか。

メッセージ

ぜひ一人でも多くの方に現在の1Fの姿を見ていただきたいと思います。



(写真左から)

おと べ ひであき
乙部 秀昭さん
まつだ こうき
松田 貢紀さん

ね もと み な
根本 美奈さん
たけうち なおき
武内 直樹さん

おかだ ゆい
岡田 唯さん



1Fの正確な姿を日々伝えている視察運営グループのみなさん

岡田さん：視察後に、「報道されている1Fとはずいぶん様子が違う」とよく言われるのが印象的です。とくに、初めて来られた方は、「来てよかった」「大変な作業だけどがんばってほしい」とおっしゃいます。

松田さん：地元の双葉町にある小学校の校長先生が、「今回は2度目の視察だが、作業が進んでいるのが自分の目で見てよくわかった。子どもたちや周りの人たちに伝えていきたい」とおっしゃっていたことです。こういう話をうかがうと、この仕事をやっていてよかったなと感じます。

—— どういうことにやりがいを感じていますか。

根本さん：視察者のアンケート結果で、「1Fは危険なところだと思ったけど、実際に見てイメージが変わった」と答える方が多くいらっしゃるのを見て、私たちの仕事が少しでも役立っているのかなと思います。

つと お勤め先

東双不動産管理株式会社

1982年設立。生活に関連したサービスや1Fの視察案内業務などを中心に、町づくりと地元の雇用確保を目指している。

● 続きはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」でお読みください
URL: <http://1f-all.jp/interview/38/>

39 東電フュエル 福島第一事業所のみなさん



私たち消防隊の存在が 安心につながっているとうれしい

1Fには構内で働くみなさんが安心して作業に取り組めるよう、ふだんから構内を点検して災害を未然に防ぐとともに、万一火災が起きたときには、すみやかに駆けつけて消火できるよう消防隊が組織されています。今回は、東電フュエルの消防隊のみなさんにお話をうかがいました。

—— お仕事の内容を教えてください。

蛭田さん：ふだんは1F敷地内で点検やパトロールをしています。ですが万一、敷地内で火災が起きたという連絡が入ったら、すぐさま消火のために出動します。

中村さん：私はセンター長として、消防隊の中心となって働いています。最近も何回か出動しましたが、どれも火災報知機の誤作動などで、大事に至ることはありませんでした。

みんなで知恵を出し合って工夫を重ねている

—— 仕事ではどんな工夫をしていますか。

藤浪さん：出動するまでの時間をなるべく短くするために、みんなで知恵を出し合って改善し続けています。例えば、ロッカーの位置を工夫して動線が短くなるようにしたり、防護装備の着け方の改善をしたりしました。



1Fの安全を守るため、普段から訓練を行っている

メッセージ

みなさんが少しでも作業に集中できるよう、1Fの安全のために日々取り組んでいます。



(写真左から)

やまもと しゅうへい
山本 周平さん
ふじなま まさのぶ
藤浪 正信さん

さとう なおき
佐藤 直樹さん
なかむら はるき
中村 春喜さん

ひる た まつふみ
蛭田 松文さん

佐藤さん：どこに新しい道や建物ができたのかを常に確認しながら、現場に最短時間で到着する訓練をしています。

—— ということにやりがいを感じていますか。

山本さん：1Fで防災の仕事をするというのは、ほかではできない体験です。そこにやりがいを感じています。

蛭田さん：私たちが待機していることで、作業員の方々が安心して仕事ができるのであれば、これほどやりがいを感じることはありません。



つと お勤め先

東電フュエル株式会社

1955年設立。2011年に前身の南明興産と東電グループ3社が合併し東電フュエルが発足。燃料供給や海上輸送、防災業務などを行っている。

● 続きはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」でお読みください
URL: <http://1f-all.jp/interview/39/>

健康は仕事や日々の生活の基礎になります。

このコーナーでは、1Fで働くみなさんにお聞きした健康法を紹介していきます。

日本原子力発電株式会社 福島事業所
梅木 仁司さん

広野町の最高峰「五社山（標高：685m）」は散歩がてらよく登る山の一つです。登山道は整備されていますが、結構急峻でひと汗かくには十分。頂上に立つと目の前に太平洋が広がり、広野火力発電所の白い煙突、ヴィレッジと

広野町が一望でき、遠くは塩屋崎から2Fまで眺望できます。

さて、下山途中に「原生の森」という場所があり、樹齢数百年と思われる巨木が林立。ここで根元に腰をおろし静寂に身を置き、持参のコーヒーをひと口、心も体もすーっと軽くなっていきます。こんなリフレッシュ場所はいかがですか。



五社山原生の森



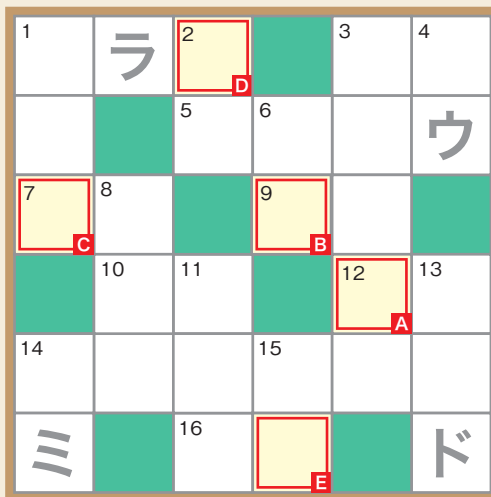
いこいの時間

クロスワード

今月はクロスワードです。タテとヨコのキーをヒントにして、A～Eの印がついた箇所の文字を並べると、答えの言葉になります。みなさん、おわかりになりますか？

タテのキー

- 新鮮な魚やお土産品でにぎわう「いわき・ら・ら・〇〇〇」
- おめでたい甲殻類「〇〇えび」
- 荷物を集めたり届けたりすること
- 手の内側はひら、外側は？
- 英語でカラー
- 落ちること。〇〇〇傘
- けがをしたら外科、腹痛は？
- 陶芸でこねるもの
- タコやイカが吐きます
- カトレアはこの仲間



ヨコのキー

- 過去→現在→〇〇〇
- お相撲さんが踏む
- 声だけの役者
- 反対側は表
- 〇〇働、〇〇下、新〇〇
- ロープ。縄より太いもの
- 虫や鳥が飛ぶのはコレがあるから
- 紅葉が素晴らしい道路「磐梯吾妻〇〇〇〇〇〇」
- アルミとスチールがある



A	B	C	D	E

答え

▶ 応募方法・プレゼントのお受け取り方法

正解した方の中から抽選で5名様にプレゼントをさしあげます。

入退域管理棟、福島第一登録窓口通用口にある応募箱に
必要事項をご記入のうえ、ご応募ください。

応募箱設置期間 10月20日～11月6日

- *応募用紙は応募箱横に設置しています。
- *当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。
- *答えはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」新着情報で発表します。

▶ 今号のプレゼント

福島名産のお菓子の詰め合わせです。

※商品の写真は異なる場合がございます



1F●R
ALL JAPAN
廃炉のいま、あした

ウェブサイトの紹介

<http://1f-all.jp/>

福島第一原子力発電所の廃炉事業を進める作業員のみなさんに、働く仲間や応援者のメッセージを伝えるため2015年10月に開設した「1 FOR ALL JAPAN」です。ウェブサイトでも本誌でも、作業員のみなさんを応援していきます。



月刊いちえふ。
2017年10月号

【発行日】2017年10月20日

【発行】

1 FOR ALL JAPAN 事務局
(東京電力ホールディングス SC室)

【お問い合わせメールアドレス】
info@1f-all.jp